

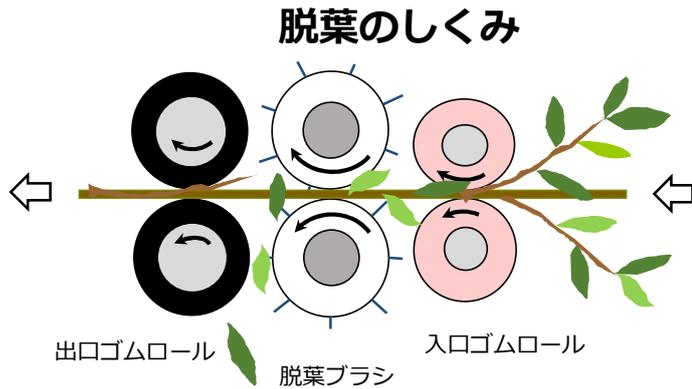
オリーブ用小型脱葉機の開発

企画・営農部門 西村融典、十川和士

本県特産の「オリーブハマチ」の飼料には、乾燥したオリーブ葉の粉末が利用されていますが、剪定した枝からの脱葉作業は手作業で行われており、多大な労力を要しています。



そこで、AC100V電源で利用できる小型脱葉機を開発したところ脱葉率は80%以上となり、実用性が認められました。



枝は根元から投入する。枝の両端をゴムロールでしっかり保持した状態でブラシで葉を逆剥きしてシゴキ落とす。

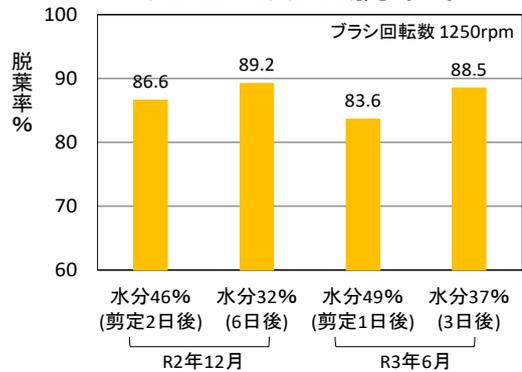


開発機の諸元

寸法 (縦・横・高さ)	40×62×42cm
投入間口・機体重量	50cm、46kg
駆動源	単相AC100V
モータ出力	(ブラシ) 三相AC200V-750W (ゴムロール) 三相AC200V-90W
ブラシ回転数	1000~1250 rpm
処理できる枝の条件 (処理できない枝)	枝の太さが約10mm以下かつ 長さが15cm以上 (三股に分岐した枝)

注) モータは、電源電圧100Vを変換器で200Vに昇圧して使用

処理時期と脱葉率



脱葉処理前後の枝・葉の状況(剪定1日後に処理)



葉の総重量10g、枝の太さ4mm。
脱葉率97%。



葉の総重量88g、枝の太さ11mm。
脱葉率84%。

処理後の枝の混入



回収容器内への小枝の重量混入率は3.5%以下。

開発した「オリーブ用小型脱葉機」は、令和4年3月より市販が開始される予定です。